

**9月議会報告  
その2**


## 自民・民主の反対で 「消費税の大増税に反対する請願」不採択

9月21日、大垣市議会9月定例会が終了しました。今議会では、市長より15議案と8月議会からの継続審査になっていた「指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」の1議案、及び請願第1号「消費税の大増税に反対する請願書」と議員提案の意見書6議案が審議されました。笹田トヨ子議員は、「大垣市住民基本台帳カード利用条例の一部改正」案と「道路特定財源制度の堅持に関する意見書」案に反対しましたが賛成多数で可決、請願第1号の「消費税の大増税に反対する請願書」は不採択となりました。

**西濃民商他15団体  
「消費税の大増税に  
反対する請願書」提出**

消費税廃止西濃地域連絡会（西濃民主商工会他15団体）より出されていた「消費税の大増税に反対する請願書」が総務委員会で審査されました。まず、紹介議員の笹田議員が「国民の所得格差が2極分化している今、消費税は逆進性で低所得者ほどその負担は重くのしかかってきます。最近、日本経団連は法人税の更なる減税とともに消費税を5%から10%に引き上げるよう提言しています。しかし、今までの消費税の増税分12兆円は法人税の減税分12兆円の穴埋めに使われてきました。これ以上税率を引き上げないよう意見書を提出していただきたい」と要望しました。これに対して、自民クラブ議員は反対、民主クラブ議員も反対、市民ネット議


員は継続審査を主張、意見書採択に賛成したのは笹田議員と富田議員で、採決の結果 不採択となりました。



### 図書貸し出しに 「国民総背番号制」の 「住基カード」導入！

住基カードの独自利用として、図書館の図書等の貸し出しを追加するため、「大垣市住民基本台帳カード利用条例の一部改正案」が提案されました。現在、住基カードの発行数は1000枚程度。住基カードの発行数を増やすために図書貸し出しサービスを追加したもので、メリットはカードが1枚ですむというもの。一方、住基カードの使用で個人情報ますます危なくなるばかりです。今までの図書カードで従来どおりの貸し出

しは可能であえて住基カードを使う必要性はなく（むしろ危険）、笹田議員は反対しました。しかし、その他すべての議員が賛成で可決されました。



### 改革路線に逆行する 「道路特定財源制度の堅持」 の請願を採択

道路特定財源のなかにある揮発油税やガソリン税そして自動車重量税はもともと一般財源でしたが、田中角栄議員の一声で道路特定財源になってしまったものです。共産党はもとの一般財源に戻すよう要求しています。それに対して国も「一般財源化」を表明していますが、今回の意見書はそれに逆行するものです。この意見書には道路特定財源制度の堅持の理由に「幹線道路の整備やバリアフリーが急務」を挙げていますが、これらの施策には一般財源も投入されています。今まで、車優先で道路に潤沢な資金が充てられてきましたが、一般財源化して公共交通機関の充実や安全な歩道・自転車道の充実などに税金を投入することが大切ではないでしょうか。しかし、意見書に反対したのは笹田議員のみで、賛成多数で採択されました。

